

第26回大会のオンライン開催について

先般よりご案内していました第26回大会の全プログラムが決定いたしましたので皆様にお知らせいたします。是非ご参加下さいますようお願い致します。

■テーマ：社会変動の中のミュージアム

■日程：2021年6月5日（土）、6月6日（日）の2日間

■ZOOMを利用したのオンライン開催

■開催趣旨

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大とその予防のために、ミュージアムにおいても、閉館や入館制限、展示手法の変更、イベントの中止や縮小などが見られた。その一方で、例えばICTなどを利活用したミュージアム活動の充実が急速に進んだ。このことは、今までは物理的にミュージアムへの来館が困難だった方に、様々な情報を提供することができ、多様な人々の様々なニーズに対応するミュージアムの役割や可能性を結果的に高めることができたと同時に、情報リテラシーやメディアリテラシーなどに関する課題もある。つまり、ミュージアムの課題として認識しつつも、今回のコロナ禍をきっかけとして、様々な課題が顕在化することとなった。また、SDGsなどのように、地球環境と社会環境に関連する課題や、ICOMの新たなミュージアムの定義を巡る様々な議論、博物館法改正を見据えた動きなど、ミュージアムを取り巻く環境は今まで以上に変動している。このような変動する社会において、ミュージアムはどのような役目を果たしていくのかが問われている。

そこで、本学会は、「社会変動の中のミュージアム」を、2021年度～2023年度のテーマとして設定した。ミュージアムに関連する様々なステークホルダー（学芸員・館長、来館者、地域住民、ミュージアムの設置者、大学の学芸員養成課程教員と受講生、民間企業、学術団体など）との対話を通して、議論を深めていく。

2021年度は、これから予想される社会変動と、社会変動に対応するためのミュージアムの課題などには何があるのか問題提起を行う。問題提起に対して、いままてJMMAの活動が社会に対してどのような役割を果たしてきたのかを振り返り、今後予想される社会変動に対応し、ミュージアムが役割を果たしていくためにはどのような課題があるのかを明らかにする。そして大会参加者とともに、これからのミュージアムとミュージアム・マネージメントの在り方について議論を深めていきたい。

■プログラム（予定） *都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

【第1日目】6月5日（土）

- 13:30 第26回総会
- 14:10 第26回大会開会挨拶：水嶋英治会長
- 14:15 大会趣旨説明：江水是仁大会実行委員長
- 14:30 休憩
- 14:45 25周年記念シンポジウム

<25周年記念シンポジウム趣旨>

昨年、JMMAでは、「ミュージアムのこれからのあり方について」、「変化を起こす学会であり続けるために」と題する25周年記念誌を発行した。そこで、25周年記念シンポジウムでは、アフターコロナの社会の変革の先にある我が国の社会環境を見据えるとともに、ミュージアム側から変革への対応ができる取り組み、方策を提案・提言など、会員の方々の意見を結集することを目的としたシンポジウムの開催を提案する。

具体的には、アフターコロナにおける社会の変革する中で、ミュージアムはどのような関わりを持続的に持つべきか、について基調講演をいただいた後、以下の①～④の視点でのパネルディスカッションを行うことを想定している。

- ①アフターコロナの時代にあっても、社会にとって必要な施設であり続けるために、ミュージアムは何をすべきなのか、変化を起こす学会としてどう対処すべきか
- ②コロナ禍において学芸員資格を有する学生の方々の就職がこれまでにない厳しい状況の中で、これからのミュージアムを支える人材にどのような貢献ができるか
- ③2021年が博物館法制定70周年を迎え、博物館法に関する新たな制度設計の検討が開始されているが、「COVID-19」により変革する経済・社会において、どのようなミュージアム・マネージメントを創造すべきか
- ④「変化を起こす学会」であり続けるために、JMMAはこれから先、どのような取り組みにより積極的になるべきか。どのような人々との交流、共同研究を進めるべきか。またどのような形での情報発信に努めていく必要があるか

1) 基調講演 14:45~15:15

「JMMA の 25 年を振り返りこれからを考える(仮題)」 松永久(株式会社三菱総合研究所)

2) パネルディスカッション「社会変動の中のミュージアム」15:25~17:15

パネリスト(敬称略)

高尾戸美(JMMA 関東支部長 多摩六都科学館研究・交流グループ リーダー、
合同会社マープルワークショップ 代表)

高橋 修(JMMA 副会長 東京女子大学 現代教養学部 人文学科 歴史文化専攻 教授)

高安礼士(JMMA 理事 福岡市科学博物館 プロジェクトアドバイザー)

中尾智行(文化庁博物館振興室 博物館支援調査官)

半田昌之(公益財団法人日本博物館協会専務理事、ICOM 日本委員会事務局長、文化庁文化審議会博物館部会 法制度の在り方に関するワーキンググループメンバー)

松永 久(JMMA 副会長 三菱総合研究所 スマート・リージョン本部 シニアコンサルタント)

安田恭子(佐世保市博物館島瀬美術センター館長、(公財)佐世保地域文化事業財団)

司会:佐藤 琴(JMMA 副会長 山形大学学術研究院 准教授 山形大学附属博物館 学芸員研究員)

3) 大会テーマ「社会変動の中のミュージアム」について 17:15~17:30

江水是仁(大会実行委員長・JMMA 理事)

<実施方法> ・オンラインで実施のため、途中退出可能

・参加の際に「25 周年記念誌」をお持ちの方はご用意ください

・終了後、さらに議論を深めたい人に対応するため、オンライン上で別室を用意
(ここには、講演者も参加予定(最長 19 時))

19:00 オンライン懇親会(参加費無料)

○参加者全員で乾杯、その後、ご希望のルームにご参加ください。

ルーム1:ホスト役 中島宏一理事 テーマ「COVID-19 の後、2~3年後のミュージアムはどうなっている？」

ルーム2:ホスト役 井上敏理事 テーマ「コロナの影響を受けた大学における今後の学芸員課程教育を考える」

ルーム3:ホスト役 高橋信裕理事 テーマ「ミュージアム行政とコンプライアンス—ミュージアムを担うのは官・公か民か」

ルーム4:ホスト役 池辺伸一郎理事 テーマ「With コロナの時代におけるニューノーマルな博物館活動を考える
~リアルとデジタルの調和」

○お好きな飲み物、おつまみを用意してご参加下さい。

【第2日目】6月6日(日)

9:30 会員研究発表(発表 15 分、質疑応答5分)

(1)	09:30~09:50	企業が企業博物館に期待する機能とは何か	古田ゆかり(サイエンスカクテル)
(2)	09:50~10:10	地域の魅力を伝える美術館でのコロナ禍におけるボランティア活動 —シビックプライドを育む、大宮盆栽美術館の取り組み—	石田留美子(さいたま市大宮盆栽美術館)
(3)	10:10~10:30	クリエイティブな科学リテラシーを目指したサイエンスコミュニケーションの試み —科学館におけるデザイン思考を用いた学習プログラムの展開—	平井康之(九州大学大学院芸術工学研究院) 井上香織(福岡市科学館)、針谷亜希子(元福岡市科学館)、生田佳美、高安礼士(福岡市科学館)
休 憩			
(4)	10:40~11:00	ミュージアムにおける収蔵展示に関する基礎的研究 ~国内ミュージアムへのアンケート調査結果に基づく類型化の試み~	加藤謙一(金沢学院大学)
(5)	11:00~11:20	美術館におけるバリアフリーの問い直し: 子育て世帯の利用しやすいトイレのありかたに着目して	内海美由紀(日本博物館教育研究所)
(6)	11:20~11:40	さわれる展示の解説パネル・見学ガイド冊子改訂による視覚障害者の展示見学支援: 大阪市立自然史博物館の事例	石井陽子、北村美香、釋知恵子、島絵里子(大阪市立自然史博物館)
休 憩			
(7)	13:00~13:20	コロナ禍における「ハイブリッド型」博物館実習実施による成果と課題	吉田公子(九州産業大学美術館)
(8)	13:20~13:40	「やさしい日本語」がもたらす科学館の多文化共生推進の可能性 ~多摩六都科学館における「やさしい日本語」職員研修の事例から~	高尾戸美(多摩六都科学館/合同会社マープルワークショップ)
(9)	13:40~14:00	ミュージアムから見る国際関係—戦争、領土、防衛—	町田小織(東洋英和女学院大学)

14:20～14:40 ポスターセッション

	14:20～14:25	インデックスプレゼンテーション	司会:田代理事
(インデックスプレゼンテーション後は各ルームに分かれてセッション)			
(1)		イベント型のオンライン事業の取り組み事例について	筋野美穂、田中裕基(多摩六都科学館)
(2)	14:25～14:40	博物館の危機管理を新型コロナウイルス対策から再考する	鬼頭孝佳(名古屋大学文学研究科)、木村歩未(MLA 研究所会員)

14:45 閉会式

■参加費

会員:1,000 円(会員の区分に関係なく一律。オンライン開催のため早割制度は実施しません)

非会員:2,000 円、ただし学生は 1,000 円

振込期日:6月2日(水)までに下記振込先までお振込みください。

期限を過ぎますと確認できない可能性があり、ご参加いただけない場合もありますのでご注意ください。

振込先:[銀行] みずほ銀行 稲荷町支店 普通預金 NO.1740890「日本ミュージアム・マネジメント学会」
[郵便局] 口座番号 00160-9-123703「日本ミュージアム・マネジメント学会」

■今後のスケジュール(予定)

- 5月31日(月) 参加申込締め切り
- 6月1日(火) 発表要旨をホームページへ掲載
- 6月2日(水) 参加費振込締切
- 6月3日(木) 参加者へ ZOOM アドレスの連絡

■その他

- (1) 別紙1「日本ミュージアム・マネジメント学会オンライン発表におけるガイドライン」および別紙2「ご参加にあたっての注意事項」を確認・了承いただいた上でのご参加をお願い致します。
- (2) 発表要旨は事前にホームページに掲載致します。ご覧いただくには、事務局より発行します ID と PW が必要となります。6月1日(火)に参加者へご連絡致します。
- (3) 諸事情や今後の準備状況により、プログラムや実施方法等に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- (4) ZOOM を用いてのオンライン開催にあたり、不具合等が生じても十分なサポートができない可能性がありますこと、あらかじめご容赦ください。
- (5) 本オンライン大会への参加に要する通信環境の整備、通信料は、参加者各自でご負担ください。

日本ミュージアム・マネジメント学会 大会実行委員会

〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 (株) 乃村工藝社内

電話・ファックス 03-3570-2498 メール: kanri@jmma-net.org

(別紙1)

日本ミュージアム・マネジメント学会オンライン発表におけるガイドライン

1. 著作権

発表者は、オンライン時にパワーポイント等に使用する著作物（写真、本、絵、イラスト、音楽、映像、等）の著作権（複製・公衆送信）について確認し、使用許可等必要な措置をとること（営利を目的としない上演、演奏、上映、口述（著作権法第38条）の権利制限規定は、オンラインでは適用されない）。

また、発表で用いる資料をダウンロードさせる場合には、そこに著作権（複製・公衆送信）の許可をとっていない著作物が含まれないように気をつけること。

自身が撮影した映像・画像であっても、神社・仏閣、美術品、芸能人の肖像、映画のシーンは使用しないこと。

オンライン発表におけるスライド等コンテンツの著作権は、発表者に帰属するが、当該コンテンツが第三者の権利や利益の侵害問題を生じさせた場合、発表者が一切の責任を負うこと。当学会は責任を負わない。

2. 肖像権

テレビ会議システム等で発表者および聴講者の顔が判別できる状態で録画や画面撮影等をする場合は、撮影すること及び撮影した写真等の二次利用について、発表者および聴講者の許諾を取る必要がある。発表者および聴講者が未成年の場合は保護者の許諾も必要となる。

このように、それぞれの許諾をとる必要が生じることから、発表者および聴講者が画面の撮影や録画を行うことについては基本的に許可しない（事務局はオンライン会議システムの録画機能を管理者権限でできない設定とすること）。

また、聴講者が受信した画像や発表者がオンライン上に公開した資料の録画（画面キャプチャを含む）、保存、配布は禁止とする（ただし、事務局が事前に公開した発表要旨は除外とする）。

3. 個人情報保護・情報セキュリティ対策（事務局及びサテライト会場）

発表者および聴講者の個人情報について、オンラインで開催するために取得した参加者等の氏名・住所だけでなく、オンライン上のデータ（発表者および聴講者の周辺情報含む）についての管理に気をつけること。

また、第三者から発表活動の妨害を受けるようなことがないように、使用するソフト等の情報セキュリティにも気をつけること。

附則

本ガイドラインは2020年8月1日より施行する。

オンライン発表等の状況により、本ガイドラインは理事会の承認を得たうえで改訂することができる。

※本ガイドラインは一般社団法人電子情報通信学会の「オンライン発表でのプレゼンテーションのガイドライン」を参考に作成いたしました。

(別紙2)

ご参加にあたっての注意事項

JMMA 第26回大会は ZOOM を利用してオンラインで開催致します。参加お申込みいただく際は、別紙1「日本ミュージアム・マネージメント学会オンライン発表におけるガイドライン」を熟読いただいた上で、お申込みをお願い致します。申込をいただいた方はガイドラインにご了承いただいたことと致します。

1. ご参加いただくためには、事前のお申し込みが必要です。
2. ZOOM 等の操作方法につきましては、各参加者でご確認ください。オンライン参加にあたっては ZOOM のアカウント登録をお持ちでない方も、ゲストユーザーとして参加可能です。
3. 主催者や司会者が発表者・参加者が識別できるよう、ZOOM にご参加の際に、お名前（フルネーム）を表記ください。また、第2日目のポスターセッション開始時はお名前の前にポスターセッションの参加希望ルーム番号を追加してください。
4. ミーティング ID、パスワード、参加 URL は第三者に知らせないでください。
5. ご発言の時以外はマイクをミュートにしてください。
6. 主催者はセミナーは録画致しますので、ご希望に応じてビデオ（カメラ）はオフにしてください。
7. 主催者以外の録画録音、URL の無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報公開は固く禁止致します。
8. 途中からの参加、退出などはご自由にできます。

[質疑応答について]

9. 質疑応答は、原則、チャット機能を利用します。「手を挙げる」ボタンを用いることや画面上で実際に手を挙げていただくことも可能ですが、参加者が多い場合は、司会者が見落とす可能性がございますのでご注意ください。

[会員研究発表]

10. 会員研究発表は入退出自由です

[ポスターセッション]

11. ポスターセッションは「ブレイクアウトセッション」機能を用いて実施します。
ポスターセッションは3ルームで実施致します。
インデックスプレゼンテーション終了後、参加者を2グループにホストがわけ、各ルームへ振り分けます（お名前の前に希望ルーム番号を追加しておいて下さい）。ご自身での移動も可能です。
12. ルーム間の移動は自由とし、強制ローテーションはおこいません。移動は原則ご自身の操作でお願いします。また、ルーム間の移動は ZOOM の最新版が必要です。バージョンを最新にしておいてください。
13. ポスターの発表については、発表者よりポスターの説明があり、その後、質疑応答を実施します。参加者は質問の際に所属・氏名を伝えてから質問していただくことをお願い致します。

日本ミュージアム・マネージメント学会 第26回大会参加申込書

※JMMA のホームページの入力フォームからお申込みいただくこともできます。

氏名			
所属			
メールアドレス		電話番号	
会員・非会員 (どちらかに○をお願いします)			

日付	プログラム	参加申込 (該当欄に○)
6/5 (土)	13:30～ 第26回総会	
	14:10～ 開会式等	
	14:45～ 25周年記念シンポジウム	
6/6 (日)	09:30～ 会員研究発表(午前)	
	13:00～ 会員研究発表(午後)	
	14:20～ ポスターセッション	

◆申込書送付先(メールまたはファックスにてお送りください)

「日本ミュージアム・マネージメント学会事務局」宛

e-mail:kanri@jmma-net.org / FAX:03-3570-2498

◆申込期限:2021年5月31日(月)

◆参加お申し込み後、6月2日(水)までに参加費(会員:1,000円、非会員:2,000円、ただし学生は1,000円)をお振込みください。

※期限を過ぎますと確認できない可能性があり、ご参加いただけない場合もありますのでご注意ください。

振込先:[銀行] みずほ銀行 稲荷町支店 普通預金 NO.1740890 「日本ミュージアム・マネージメント学会」

[郵便局] 口座番号 00160-9-123703 「日本ミュージアム・マネージメント学会」